



「道の日」のイベントを各地で開催!

～ また明日 きっと歩こう この道を ～

(平成22年度 「道路ふれあい月間」推進標語最優秀作品)

道路環境課

普段、何気なく使っている道路について、私たちはその役割や重要性を意識することはあまりありませんが、生活していく上で、なくてはならない大切な財産です。

そんな道路とふれあい、道路に対するいたわりや慈しむ愛護の心を高めてもらい、マナーを守って道路の正しい利用を心がけていただくため、国では、8月を「道路ふれあい月間」、8月10日を「道の日」と定めており、この期間に全国で道路利用者の視点に立ったさまざまな運動が実施されています。

岩手県内でも、「道の日」を中心に、各地でさまざまなイベントが開催されました。

「道の日」が8月10日なのは、どうして?

大正9年8月10日にわが国で最初の道路整備についての長期計画である第一次道路改良計画が策定されたこと。

「道路ふれあい月間」(8月1日～31日)の期間中であること。

などから、昭和61年度に国土交通省が定めたものです。

8月10日(火) 第2回 あづま街道ウォーキング ～奥州市～

坂上田村麻呂やアテルイ、藤原清衡の時代のあづま街道の歴史や黒石の自然を感じようと「あづま街道ウォーキング」(主催:岩手河川国道事務所・県南広域振興局・奥州市・NPO法人北上川流域連携交流会)が開催されました。奥州市水沢区にある黒手助千手観音を出発し、高清水、追分の石を経て黒石公民館までを地元黒石に詳しい佐々木さん、高野さんに歴史などをご紹介いただきながら、約4kmの道のりを歩きました。

また、ゴール地点の黒石公民館では、奥州市で採取した種子から育てた「アツマヒガン」や「キリ」の苗木を希望者にプレゼントしました。

当日の様子は、あづま街道ブログ(奥州市商工観光課で掲載) <http://kuramachi.exblog.jp/14383210/>でも紹介されています。ぜひ、ご覧ください。



8月10日(火) 「道の日」道路清掃 ～盛岡市～

盛岡広域振興局の各部から職員が集まり、国道106号盛岡バスセンターから国道455号裁判所前までの歩道の清掃を行いました。夕方とはいえまだ暑さが残る中での作業でしたが、参加者は、きれいになった道路に満足した様子でした。

8月3日(火) 宮古の道クリーン作戦 ～宮古市～

お盆の帰省客を心地よく迎えようと、宮古市の表玄関となる南町から千徳駅付近の国道106号の清掃活動を行いました。地元の建設業協会、宮古市、宮古土木センターから参加した総勢106名が、23班に分かれて歩道に堆積した土砂の除去や除草などを行い、慣れない作業ながらも作業開始2時間後には2tダンプで8台分の土砂や雑草を集めました。

8月10日(火) 第23回旧釜石街道「仙人峠の集い」 ~釜石市~

毎年恒例となった「仙人峠の集い」(主催:釜石市・岩手県)も今年で23回目になりました。平日にもかかわらず、今年も100名を超える方々が参加し、昭和25年まで使われていた旧釜石街道のうち遠野側から釜石側までの約5.5kmを3時間かけて歩きました。

沿道には水槽や石碑があり、水の運搬が容易ではなかった当時の苦労が偲ばれました。



8月10日(火) 「黄金ロードふれあい作戦」

~一関市・平泉町~

地元建設業協会を中心とし、一関市、花泉支所、平泉町、一関土木センターなどで構成する「黄金ロードふれあい協議会」が市道竹山東工業団地線、県道平泉巖美溪線、国道342号(花泉地区)の3路線の清掃活動を行いました。

マイクロバスに分乗して、現地へ移動し、集配車と一緒に沿道を歩き、それぞれ約5kmのコースを約2時間かけて作業しました。当日は猛暑で、安全のために着用したヘルメットとベストでさらに暑さを増す大変な作業になりました。



8月9日(月) 「道の日」イベント

~一関市千厩・東山・室根・川崎地区~

産直センターひがしやま季節館、ふれあいむろね旬菜館、道の駅「かわさき」の3施設の周辺道路で千厩土木センター、地元の建設業協会、一関市の関係支所などから68名の参加者が集まり、清掃活動・花壇の草取りを行いました。このほか、「道の日」ののぼりを設置したり、花の種入りのチラシを配布するなど、道路愛護、道路の正しい利用を呼びかけました。これまでの活動が功を奏し、年々ゴミの量が少なくなっているようです。

8月5日(木) 遠野地域環境美化活動

~遠野市~

最高気温34.7という厳しい暑さの中、地元の建設業協会を中心に、遠野市、遠野土木センター職員により、国道107号小友地区、道の駅「みやもり」周辺、遠野市角鼻展望台、県道遠野住田線綾織町愛宕地区、早瀬川河川敷の環境美化活動を道路活動班50名と、河川活動班39名に分かれて行いました。

(詳しくは、美しい県土づくりNEWSの先月号(8月号)に掲載しています。)

8月10日(火) もうひとつの「塩のみち」

~久慈市山形町~

県道一戸山形線の旧道・伊保内街道を散策するイベントを行いました。

「旧伊保内街道は、「塩の道」としてだけでなく、内陸から生活物資を運ぶ「命の道」でもあった。」という講話をバッテリー村村長から聞き、参加者は遠い昔に思いを馳せているようでした。



8月10日(火)

「気仙歴史の道を歩いてみよう」

～陸前高田市～



毎年「道の日」に合わせて、気仙地域内にある「歴史の道」を、学びながら散策するイベントを、大船渡市、陸前高田市、住田町及び大船渡土木センターにより行っています。今年は気仙地域の住民など150名が参加し、陸前高田市の今泉街道を「泉増寺」や「大肝入吉田家」に立ち寄りながら、約8kmを2時間半かけて散策しました。「普段触れることのない道の歴史を学び、勉強になった」、「来年もまた参加したい」との声が寄せられ、大好評でした。

8月3日(火)

「道の日」イベント

～花巻市～

花巻土木センターと空港事務所職員により、「いわて花巻空港」のアクセス道路について、歩道植樹帯に生えた雑草や防護柵に絡まっている葛の除去、ゴミ拾いを行いました。

当日は曇り空ながらも30度を超えるむし暑さでしたが、草を刈り取ったあとは、身も心もスッキリ！岩手の空の玄関「いわて花巻空港」では、お客様を気持ちよく迎える環境が整いました。



8月10日(火)

「道の日」道路清掃

～八幡平市・岩手町～

道路の正しい利用と道路愛護の精神を普及させようと、岩手土木センター職員による道路清掃を実施しました。国道281号、282号の道の駅や待避所周辺を14名の精鋭たちが夏の暑さにも負けず作業に励みました。

この他、岩手土木センター管内では地元建設業協会による清掃活動も行われました。



8月5日(木)

小本街道環境整備

～岩泉町～

夏の日差しが強く、気温36度の猛暑日でしたが、地元建設業協会、岩泉土木センターから32名が参加し、国道340号の岩泉町袈綿地区の沿道で花壇整備を行い、500本もの花苗を植えました。

国道455号早坂トンネルが開通したことで、内陸と沿岸の交通が盛んになり、道行くドライバーに安らぎと潤いを与えてくれることと思います。



「道のパネル展」

9月6日(月)～17日(金)

北上土木センターでは、地域住民の皆様と交流の場として利用解放している北上地区合同庁舎県民ホールで「道のパネル展」を開催しています。

「道のパネル展」では、以前実施されていた東北地方道路写真コンテストの受賞作品を展示しますので、私たちの生活に密着している「道路」に親しみ、関心を持っていただければ幸いです。皆様、ぜひ、お越しください！！